

様式3（裏面）

随意契約とする理由及び見積りの相手方を選定した理由

農地地すべり区域である本地区において、発生した地すべりの活動を抑制するためには地下水位を低下させる必要があり、応急対策として、地下水の強制排除工や沢水の地下への浸透水を減少させるための仮設排水路を設置するとともに、地すべり区域の上流部に集水井の設置を進めた結果、地すべりの変位がほぼ見られなくなった。

しかし、地すべり区域全域における恒久的な地下水排除対策が喫緊の課題であり、本工事により1日も早く集水井を設置し、地下水の排除対策を強化することが急務となっている。

このため、競争入札による契約手続きを行った場合、時機を失い、契約の目的を達成することができなくなり、県民生活に支障を来す恐れがあることから、随意契約として実施した。

《根拠法令》

地方自治法施行令第167条の2第1項第5号

迅速かつ円滑な施工の確保を図る観点から、平成29・30年度工事等請負有資格者名簿のさく井工事登録者のうち、福島県内に本社・支店・営業所があり、県内外において集水井工事の豊富な経験と実績を有する5者を選定。

変更契約の内容

変更契約年月日	年	月	日
変更後の完成年月日	年	月	日
変更後の契約金額			
変更契約をする理由			
<input type="checkbox"/> 1 現場精査による数量増（減）			
<input type="checkbox"/> 2 （ ）工事追加による増額			
<input type="checkbox"/> 3 その他（ ）			